

2022年 夏季一時金 2.81ヶ月 7月5日支給

破天荒

教宣部

5104号

2022年
6月23日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合

昨日、夏季一時金の二次団体交渉が開催されました。一次回答と同じ二・八ヶ月が回答され受決、支給日は七月五日です。

一次回答

二・八ヶ月

(組合要求額二・九ヶ月)
(昨年二・五四ヶ月)

会社業績・世間動向・経済環境・業績を考慮して回答しました。
売上(前年同期比) 37% up
経常利益(前年同期比) 247% up

対象期間の状況

売上・受注とも新型コロナウイルスの影響を受けることもなく、安定した利益の確保が得られた。設備投資の旺盛な状況が続いており昨年3月から売上目標を達成している。海外は半導体の設備投資が活発。

二次回答

(組)二・八ヶ月増の検討。
(会) 変更なし。業績を細かく分析した結果を充分に考慮して出した金額なので変更しません。

(組)二・八ヶ月は上限値? 「過去の夏季一時金、回答金額の最高値が二・八ヶ月より」
(会)二・八ヶ月は上限値ではありません。出せる時には出します。

春闘賃上げ交渉時、100円のペー
スアップもできませんが利益が出たら一時金で還元しますと会社側は発言され、私達は一時金に期待を賭けていました。

売上・経常利益とも好調なので回答金額より高い額を出せる体力は充分にあるのに、何故この金額なのか納得できません。会社はコロナ禍の中で、売上に貢献している従業員に誠意を見せるべきではないでしょうか。冬季一時金では従業員に誠意を還元して下さい。と述べて受決としました。

